

写真

美術科 写真コース

TR テキストレポート科目 TW テキスト作品科目 TX テキスト特別科目 S スクーリング科目 GS 藝術学舎科目 WS Webスクーリング科目 必 必修科目 選必 選択必修科目 選 選択科目

※下記で紹介する科目は2017年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

写真コース専門教育科目

STEP①

なぜ写るのか、なぜ写すのか。まずは基本のことから「知る」。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
写真演習 I-1	写真日記／セルフポートレイト	TW	必	2		写真を学ぶスタートとして日々写真を撮影する。カメラ、撮影対象は自由。継続した写真を日記にまとめることから自己の視点・意識を理解していく。自分を被写体とした作品を制作して、写真表現の原点を学ぶ。
写真演習 I-2	絞りとシャッター／レンズ効果	TW	必	2		写真はカメラによる露光という物理現象がその表現を支えている。カメラのメカニズム、絞りとシャッターの構造や被写界深度などによる映像効果など、写真撮影を支える基礎知識を制作から学ぶ。
写真 I-1	クリエイティブ	S	必	1		写真による表現とは何かを考察して、自己のイメージーションを画像に表わしていく制作過程を学ぶ。
写真 I-2	デジタル基礎	S	必	1		デジタルカメラ及びデジタル画像の原理を理解して撮影と制作実習を行う。
写真 I-3	写真原理／ピンホール	S	必	1		写真がなぜ映るのかを光学的現象と原理に遡り、体験とともに理解する。
写真 II-1	撮影基礎1	S	必	1		一眼カメラの構造、操作の基本、絞りとシャッターの関係、露出補正などを学び、撮影実習を行う。
写真 II-2	撮影基礎2	S	必	1		4×5ビューカメラ(大型カメラ)を実際に操作し、カメラの原理や露光のメカニズムを理解し体得する。
写真 II-3	ライティング基礎	S	必	1		ストロボ、タングステン灯などの光を理解して基本的なライトコントロールとライティング技術を学ぶ。

STEP②

さまざまな表現や作品を「見る」ことで、感性と技術を養う。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
写真演習 II-1	コラージュ／写真絵本	TW	必	2		写真はいろいろな分野やメディアと融合してきた。近年もコラボレーションやミクストメディアといったスタイルで多彩な表現形態を示している。そのもとになったコラージュ作品を理解し制作する。多数の写真をまとめる時、その流れと構成は、写真を撮影制作するのと同じくらい重要なことである。作品を見せることを意識した編集力も身につけていく。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
写真演習 II-2	アザースポートレート／テーマ制作	TW	必	2		他者の肖像を撮ることにより、セルフポートレートとは異なる人物表現を学ぶ。同時にコミュニケーション能力の開発と向上を図る。与えられたテーマではなく、各自が設定したテーマにもとづき継続的に撮影制作する。
写真 III-3	写真知見	S	必	1		写真史と写真作家について学ぶことを通じて、現代の表現に至る道筋を理解し、自己の作品制作に実践的に役立てる。
写真 III-4	スナップ	S	必	各1		テーマを設定して撮影と制作実習を行う。“撮る”行為と“創る”行為を体験的に学ぶ。※写真III-1,2は欠番。
写真 III-5	フォト・コラージュ	S	必			
写真 IV-1	デジタルフォト	S	必	1		デジタル画像(静止画)を、撮影と入力・処理・出力のプロセスをマスターした上で、作品化する。コンピュータの基本操作に慣れるとともに、デジタルイメージへの発想・構構にアプローチする。
写真 IV-2	視る	S	必	1		視覚芸術である写真にとって、視ることは重要な行為である。展覧会の企画・構成を意識して鑑賞。たくさんの写真展をみることによって自身の知識と思考を高める。
写真 IV-3	美術館研修	S	必	1		奈良市写真美術館で入江泰吉研究と大和路の撮影実習を行う(関西)。川崎市市民ミュージアムまたは東京都写真美術館にて、写真コレクションと写真美術館に関する研修を受講し、撮影実習を選択して行う(関東)。

STEP ③

写真表現の技術を広げ、さらに制作の領域を広げる。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
写真演習 III-1	ポートフォリオ1／ポートフォリオ2	TW	必	2		各自テーマを設定し、組み写真に構成してポートフォリオ(作品集)を制作する。写真を撮るだけではなく、写真に対する思考、技術、選択眼、構想などをトータルに咀嚼して、テーマに基づいた写真を制作する。
写真演習 III-2	タイポロジー／コンストラクティッドフォト	TW	必	2		類型学にもとづく写真表現を学習して制作を行う。被写体を創り、それを構成し撮影・作品化する。
写真 V-2	プレゼンテーション	S	必	1		写真の展示と保存方法を実践で学ぶ。より効果的な作品発表のスキルを学ぶ。
写真 V-3	ワークショップ・ゼミナール	S	必	1		第一線で活躍する写真家を迎えて講義と実習を行う。作家それぞれのスタイルや、その作家独自の制作テーマ、考え方に直接触れる。作家との対面という極めて貴重な時間の中で、手法やテーマの立て方等を学ぶ。
写真 V-6	デジタルプリント・アドバンス	S	写真 V-6～9, V-12～14 より 選必 (4単位)	1		デジタルカメラを用いた撮影、入力、処理、出力、保存を通じて、より高度なデジタルファイルプリント制作を行う。
写真 V-7	ライティング・アドバンス	S		1		大型ストロボを駆使し高度なライティングによるスタジオ撮影を学ぶ。
写真 V-8	白黒プリント	S		1		歴史的・技術的に完成された銀塩写真を体験・理解する。
写真 V-9	フィールドワーク	S		1		特色ある場所・テーマを研究・調査し、より専門的な撮影を行なう。(長野・鳥取)
写真 V-12	写真批評	S		1		多角的な作品批評をうけることにより、自己の作品についての客観的な理解と判断力を学習する。
写真 V-14	デジタル・プレゼンテーション	S		1		デジタル環境において多様化する写真のプレゼンテーション方法を、その発信の方法も含めて学ぶ

学びの成果と自分のテーマを、ひとつのかたちに完成させる。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得 試験	履修内容
4年次						
写真演習Ⅳ	事例研究/ プレゼンテーション・ポートフォリオ	TX	必	4		卒業研究のベースとなるリサーチを行う「事例研究」と、展示とはまた別の形での卒業制作の完成形としての「ポートフォリオ制作」によりプレゼンテーションツールを作成する。
卒業制作		S	必	6		学習の集大成として作品を制作する。授業を通じて、対外的に発表することができるクオリティと完成度のある代表作を制作する。ディスカッション、数回の審査を通じ作品の完成度を高めていく。

コースからのスクーリング開講に関するお知らせ

土日を中心とした2日間の開講となります。

卒業制作スクーリングを含むほとんどの科目を東京でも開講しますので、卒業要件に必要な単位を東京で開講するスクーリングだけで修得することが可能です。ただし、3年次の選択必修科目の一部に京都のみの開講となるものがありますので、こちらを選択する場合は京都で受講することになります。

スクーリング科目(必修科目)は、事前課題に学習用Webサイト「airU」を利用するため、インターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。また、いくつかの必修科目では、ノートパソコンの持参が必要です。